朝鮮神宮大前にて[[1]](#footnote-1)

香山光郎

大前の作法になれずひたすらに伏しかしこみつ祈りも得せずて

大前にわがかしはでの鳴る音の高御座より降る心地して

すめらぎの君と神とに連なりて大和も高麗も一つなるかも

1. 1941年1月刊行『同胞に寄す』の目次と本文のあいだの頁に掲載された。同じ頁に『總動員』1939年10月号に掲載された「志願兵頌歌」5首も載っている。 [↑](#footnote-ref-1)